



世界に希望を生み出そう

RI 会長テーマ

2023～2024 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 紀室 綾子

副会長 松田 福美

幹 事 三田地大悟



= 会長指針 =

希望を胸に心ひとつに

．．． 例 会 記 録 ．．．

6月第1回例会 2024年6月13日(木)

ソング : それでこそロータリー ボックス : 18,000円 (報告者 橋爪文人会員)

お客様紹介 : ガバナー補佐 上関 優様

本日出席率 : 60.00% 前回修正後100% (メークアップ 8名) (報告者 菅野嘉洋会員)

★ 会長の時間 : 紀室綾子会長



本日は、私たちロータリークラブの精神である「超我の奉仕」の哲学についてお話ししたいと思います。この哲学は、利己的な欲求を抑え、他人への奉仕を通じて人間の幸せを追求するものです。

まず、皆さんに一つのエピソードを紹介いたします。このエピソードは、地獄と極楽の違いを通じて「与える」ことの重要性を教えてくださいます。

ある男が閻魔大王のあっせんで地獄と極楽を見学させていただきました。地獄の食堂は、一流ホテル並みの豪華さでしたが、非常に騒々しく、人々はみな痩せ衰え、

もがき苦しんでいました。彼らの手には二メートルもある長い柄のついたフォークとナイフが結び付けられており、食べ物を自分の口に運ぶことができなかつたのです。

次に、男は極楽の食堂を見せてもらいました。ここも地獄と同じく立派な食堂でしたが、静かで和やかな雰囲気でした。食事をする人々も同じように二メートルの柄のあるフォークとナイフを使っていましたが、彼らは互いに向かい合って相手の口に食べ物を入れ合い、楽しそうに食事をしていました。この光景を見た男は、極楽の道理を深く理解することができました。

このエピソードからわかるように、同じ状況でも心の置き場所や考え方によって、地獄にも極楽にも道は通じるものです。与えるための心構え、奉仕の精神による行為そのものが地獄から免れ、極楽への切符が約束されるのかもしれませんが。

例えば、奪うことばかり考えていると、周りの人々は自分から離れていきます。しかし、与えることに重点を置けば、感謝の気持ちが生まれ、周りの人々も自分を助けてくれるようになります。このように、他人に与えることが、最終的には自分にも返ってくるのです。

実際、私も日常生活で自己中心的になってしまうことが多々あります。こうして皆さんの前で偉そうな話をしている自分が恥ずかしいと感じることもあります。しかし、このように感じるこそが成長の第一歩なのです。

人間は完璧ではありません。そして、完璧である必要もないのです。重要なのは、気づき、少しずつでも改善しようとする意志です。「超我の奉仕」の精神を実践することは簡単ではありませんが、だからこそ価値があるのでしょう。

私はロータリークラブに入会しなければ、このような気づきを得ることはできなかつたと思います。多くのクラブの皆さんとの交流や活動を通じて、「与える」ことの大切さや、それが自分自身の幸せにつながることを学びました。ロータリークラブに対して心から感謝しています。ふりかえると会長の時間にこの超我の奉仕に触れる内容が多かつたように思います。佐藤 GE からいただいた「表彰ということ」に深く影響されたからだと思います。何故なら、それは「超我の奉仕」という理念の最も純粋な形であつたからです。物質的な豊かさ

に頼るのではなく、真心からの奉仕が持つ力を教えていただきました。この時の宿題に応じてくださった方々、そして佐藤 GE に心より感謝申し上げます。私の宝物となりました。任期終了6月30日まであとわずかです、最後までよろしく願いいたします。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

・2023-24 年度年間表彰報告のお願いが届いています。締め切 7/19

・6月1日付で ^{ぬまざわみわ} 沼澤 實和さんが入所との連絡あり

2 ガバナーエレクト事務所より

・インターアクト年次大会の案内が届いています。

日時 7月30日(火) 12:30~16:30

場所 一関文化センター 締め切 7月1日

・RLI 研修日程のお知らせが届いています。

パートI 11月23日 パートII 2025年3月25日 パートIII 5月10日

いずれも いわて県民情報交流センター 9時~16時10分 詳細はその都度ご案内します。

・クラブアクション・プラン・チャンピオン(クラブ行動計画推進者) 選任のお願いが届いています。

・2025年カルガリー国際大会登録受付が開始されたとの連絡が入っています。

3 第3分区ガバナー補佐より 9月のガバナー公式訪問へ向けて各種提出物のお願いが届いています。

4 ガバナーエレクトより 次年度公式訪問の際の服装について 違いを認める一助とするため
あえて、NOネクタイ 普段着 慣れている服でとの文書が届いています。

5 守口イブニングロータリークラブより

6月20日カンボジアで開催されるGG事業寄贈式に持参するバナーを送って頂きたいとの連絡あり

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

一年を省みて：理事・役員

★ 幹事 三田地 大悟



昨年7月から、紀室年度の幹事を1年間務めさせて頂きましたが、あっという間の一年だったなと感じております。今年度も、月2回の例会となりましたが、2021-2022年度、志田年度の幹事を経験させて頂き、今回の紀室年度幹事と、2度目の幹事となりましたが、志田年度も月2回の例会でしたので、これでやっと丸1年の幹事としての経験を全うした気持ちです。

しかし、幹事としての力不足もあり、例会等も充実した内容で会員の皆さんに参加して頂いていたのかなど、心残りもあります。しかし3度目の幹事はやりません。

この1年間、幹事としてクラブ活動ができたのも、ひとえに会員の皆さんのお陰だと感謝しております。本当にありがとうございました。

今年度も月2回の例会ではありましたが、様々な事があった1年でした。

特に例会場に関しては魚市場からはじまり、すごう、そして最後はおおふなポートと、会員の皆さんにはご苦勞をおかけした1年でした。1年間クラブとしての例会場を確保できた中で、落ち着いて運営できなかったのも残念でしたし、違う意味でエネルギーを使う場面が多かったように感じました。

今年度は初めての試みではありましたが、紀室会長が先頭になり 3 クラブ合同（大船渡西・大船渡・陸前高田）での DE I 研修会を開催しました。3 クラブの他にも奥州水沢東、気仙沼南の会員の方も参加頂きました。そもそも DE I というものを理解していなかった私にとって、すべてを理解した訳ではありませんが、研修会は充実したものとなりました。そしてそれ以上に、懇親会が楽しかったなと感じました。普段近くにいっても交流は非常に少ない他クラブの方々のお話を聞く事も大事だなと思いましたし、特に、以前から交流が深い錦山さんの所属する奥州水沢東とは、いつも何かあればこちらに来て頂いているので、当クラブが訪問する事も大切ではないかなと感じました。

最後になりますが、1 年間幹事を務めさせて頂きましたが、紀室会長をはじめ役員、理事、各委員長、会員の皆さんに支えて頂き 1 年間やり遂げることが出来たと思っております。

本当にありがとうございました。

そして、2 度目にも関わらず、分からない事が多い私に、なんでも教えてくれた和賀先生にも感謝しております。ありがとうございました。

★ 副会長 松田福美



今年度副会長を拝命しあつという間の一年間でした。

副会長は会長をサポートする役割でしたので、会長不在時会長挨拶を代行することになるだろうとドキドキしておりましたが、大変まじめな会長なので、出席率も良く会長挨拶代行をできぬまま終わることとなりました。

そして、毎回会長挨拶を傍で聞きロータリアンとして深く考えさせられる内容に感嘆するばかりでした。特に皆様に関心かけるような語り口調は

会長の想いが会場にいる仲間の心にすーっと染み入るようでした。本日最後の会長挨拶「極楽と地獄」のお話もそうでした。本当に一年間お疲れさまでした。

また、会長のお話の時間もお勉強になりましたが、ロータリーそのものが私にとって、大変勉強になる場と確信しました。私は立派なことを話すことも苦手ですし、こうして皆様方の前で話をする事も、苦手です。仕事においてセミナーをしておりますが、毎回眠れず、寝不足になることもしばしばあります。こうやって人前で話すことも勉強ですし、第 2520 地区 2024-2025 年度公共イメージ向上、DEI 推進委員会 委員の拝命も大変有難い機会ととらえています。

また、クラブ強化部門長としての今年度最大のミッション、会員増強は不完全燃焼で終わってしまいましたので、次年度引き続き会員増強メンバーとして頑張りたいと思います。

紀室年度が目指した「やりがいあり、楽しく、お互いが感謝し合える活動」ができたことは、一重に皆様のお陰と感謝しております。

一年間ありがとうございました。次年度山口年度も「笑顔でロータリー」を合言葉に多に楽しみたいと思います。

★ 会長 紀室綾子



今年一年を振り返るこの機会をいただき、心より感謝いたします。今日は「一年を顧みて」というテーマでお話しさせていただきます。この一年間、私は「希望を胸に心ひとつに」というテーマを掲げ、ロータリー活動に取り組んできました。このテーマには、どんな困難な状況でも希望を失わず、心を一つにして前進していくという思いを込めました。今日は、その一年間の活動を振り返り、皆様と共に考えたこと、学んだことを共有させていただきたいと思っております。

まず、この一年間の主要な出来事について振り返りたいと思います。月 2 回という限られた例会の中、

多くの皆様においでいただき、貴重な講話を頂戴しました。皆様のお力添えにより、私たちの活動がより充実したものとなりました。

「みんなの印合同会社の前川様、本真様、大船渡警察署生活安全課の早野様、アイネット補聴器の岡本様、吉田様、前市長の戸田様、未来創造塾の大船渡温泉志田様、株式会社國洋のキンナンダーミヤエボン様、ウイサンダーモー様、青年会議所の鎌田俊様、智様、東高校の千葉校長先生、NHK盛岡放送局長の田中様、GEの佐藤様、傾聴ボランティアこもれびの会の佐藤様。」それぞれの皆様との出会いに感謝の気持ちでいっぱいです。皆様のご講話から得た知見や感化は、私たちの活動のさらなる成長の糧となりました。皆様のご協力とご支援に心より感謝いたします。

また、会員ご家族の皆様には4年ぶりの家族新年会においでいただき、権現様、紅白餅を用意し日頃の感謝を申し上げることができ、笑顔いっぱいめでたきことを嬉しく思っています。さらに、インターアクトの皆さんとの交流も大切な活動の一つでした。年次大会への参加、文化祭での情報発信、歳末助け合い募金運動、大洋学園との交流、警察署前の花壇整備など、インターアクトの皆さんと共に過ごした奉仕活動は地域に温かさと笑顔をもたらしました。彼らのリーダーシップと奉仕への姿勢は、私たちクラブを力強く支えてくださり、その存在感を高めていただきました。心から感謝しています。

8月の財団セミナーでは、佐藤剛GEよりの「表彰ということ」に出会い、「超私の奉仕」をより深く理解する機会を得ました。同時に、被災高校生奨学金制度「ロータリー希望の風奨学金」についても学び、もっと早く知っていればと悔しい思いと自分の勉強不足を痛感しました。

9月には、名古屋東ロータリークラブの皆さんが中心となり立ち上げた「被災高校生支援事業10周年記念交流会」にも参加し、発起人の2760地区千田（せんだ）パストガバナーとお会いし、その人柄と奉仕の心に感銘を受けました。この二つの制度の恩恵を受けているのが我が地区の学生であることを知り、感謝の念を新たにしました。そして、山形県高畠での野球大会は、結果は残念でしたが、笑いの絶えない親睦旅行となり、まるで楽しい大人の修学旅行のようでした。また、3月の祈りのモニュメント除幕式の参加に始まり、鎮魂愛の鐘移設建立の最終形にも携わることができ、人として寄り添うことの大切さを教えていただきました。このプロジェクトを成し遂げてくださった方々には、深く感謝申し上げます。その努力と献身がなければ、完成は成し得なかったでしょう。これまで携わってくれたすべての方々に、心より御礼申し上げます。

4月には、今年度の目標の一つとして掲げていた専門家を招いたDEI（多様性、公平性、インクルージョン）研修会を開催し、30名以上の参加をいただき、成功裏に終わりました。これは、主管を決めずに3クラブが一体となって取り組む初めての挑戦でした。高田RCさん、大船渡RCさんの皆様には、こころよく賛同していただき、深く感謝申し上げます。また、気仙沼南RCさん、水沢奥州東RCさんにも参加いただけたことは大変嬉しく、今後の励みとなりました。この研修会後の懇親会も盛り上がりましたが、親睦の輪がさらに広がり、地区大会へとつながりました。ロータリアンとしての友情の醍醐味を、夜の仙台で存分に味わうことができました。

その反面、能登での災害など多くの困難や、仲間を失うなど悲しい出来事もありました。会員数の減少による財政難、社会情勢やコロナ禍の後遺症による例会場の閉鎖など、大きな課題にも直面しました。この一年間、理事の皆さんをはじめ会員の皆様のご協力には本当に感謝しています。特に、会計の鈴木さん、事務局の和賀さんには、予算管理などで大変ご苦勞をおかけしました。また、齊藤会員、水野会員の会員増強への尽力にも心より感謝しています。さらに、三田地幹事、松田副会長には、支えてくださったことに深く感謝申し上げます。そして、地域の皆さんの協力と支援にも、心からお礼申し上げます。結びとなりますが、会長としてのこの一年、貴重な経験を通じて、「超私の奉仕」を多く学びました。「ロータリーは人生哲学」という確信を深めることが出来ました。これらの経験を次の年度に活かし、山口年度をより強力に支援していくことを決意しています。

そしてまた、会員数が減ったとしても、私たちの絆はこれまで以上に強くなったと確信しています。「過去に感謝し今を信じ未来に希望をつなげる」少数精鋭だからこそ、一人ひとりの力がより活きるし、クラ

ブ全体として成長できるはずです！その力を感じながら団結して笑顔で未来に向かって進んでいきましょう！

この一年間、未熟な私にお付き合いくださりありがとうございました。会長にさせていただいたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

★ 第3分区ガバナー補佐 上関 優様



6月30日でガバナー補佐退任となる為、ご挨拶にお出でいただきました。当クラブへは4度目のご訪問。一年間 お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

★ 次年度会長 山口 徹



次年度は、基本第1・2・3週の木曜日を例会日とする。
例会場は、サンリア1階美容室跡
昼食はお弁当 余りを無くすため、足りない場合はジョイスから購入するように控え目に注文する
野外例会には、昼食は準備しない
以上の様に考えておりますので、ご協力をお願いします。

6月18日（火） 警察署前花壇整備

東高校 IAC・ボランティア部？生徒・先生 警察署ボランティアの会員の皆さん 大船渡西 RC 会員と恒例の警察署前花壇整備を行いました。ロータリアンと男子生徒で育ちすぎた植物も伐採し、すっきりとした花壇になりました。 整備の花壇の写真を撮り忘れませんでした。（ノリ）

